

高大連携歴史教育研究会会報

第2号



＜各部会別研究会 資料集＞

第1部

歴史教育の未来をひらくーアクティブ・ラーニングと「歴史総合」

第2部

大学の教養教育と教員養成を考える
——高大接続の入口と出口

第3部

必修科目「歴史総合」(仮称)と新テストのあり方を考える

第4部

各種報告事項、資料提供、自由投稿等

高大連携歴史教育研究会

The Association for High School-University Collaboration in History Education

会報 第2号 目次

第1部 歴史教育の未来をひらくーアクティブ・ラーニングと「歴史総合」……………(1)

[第1～2部会合同:2016年3月20日(関西)、27日(関東)]

I. 趣旨説明

II. 報告

- (1) 小川幸司「中教審の動向についての中間報告」
- (2) 中村薫「高等学校での歴史教育の変遷と『歴史総合』の課題」
- (3) 皆川雅樹「アクティブラーニングと歴史教育ー高校日本史の授業実践を通じてー」
- (4) 川島啓一「アクティブラーニングと歴史教育ー高校世界史の教育実践からー」

III. コメント

- (1) 桃木至朗「大学現場より」
- (2) 水嶋正稔「高校現場より①ー日本史の観点から」
- (3) 矢部正明「高校現場より②ー世界史の観点から」

第2部 大学の教養教育と教員養成を考えるー高大接続の入口と出口……………(95)

[第5部会:2016年6月25日]

I. 問題提起

II. 報告

- (1) 三田昌彦「教養教育としての世界史講義の試み」
- (2) 戸川点「教職日本史・社会教育法で何を教えるか」
- (3) 中村武司「地方国立大学の歴史教育の現状と課題ー弘前大学の事例から」
- (4) 松井秀明「歴史教育と歴史学をつなぐ試みー2年間の地歴教員養成講座を振り返って」
- (5) 桃木至朗「研究と教育をつなぐ歴史学入門講義」

第3部 必修科目「歴史総合」(仮称)と新テストのあり方を考える……………(135)

[第3・4部会合同:2016年6月26日]

I. 趣旨説明

II. 報告

- (1) 木村茂光「『歴史総合』の作成に向けてのとり組み」
- (2) 藤村泰夫「『歴史総合』の構想ー中高連携をふまえて」
- (3) 磯谷正行「『大学入学希望者学力評価テスト』の『世界史』の問題例の公開を受けて」

III. 参加記

第4部 各種報告事項、資料提供、自由投稿等……………(186)

I. 地域別・教科別研究会連絡委員会からの報告

- (1) 世界史教育研究会(新潟県)
- (2) 宮城県高等学校社会科教育研究会歴史部会
- (3) 大阪大学歴史教育研究会
- (4) 高等学校歴史教育研究会
- (5) 茨城大地域研究会
- (6) 静岡歴史教育研究会
- (7) 京都高等学校社会科研究会

II. 資料の提供

- (1) 赤間幸人「『第1部会・第2部会合同中間研究会』に向けての提案(2016年3月16日)」
- (2) 日本学術会議の提言「『歴史総合』に期待されるもの」(2016年5月16日)
- (3) 教育課程部会社会・地歴・公民WG資料7(2016年6月13日)

III. 自由投稿等

(補) イベント案内

編集後記